

マイ・タイムライン

をつくろう



愛知県建設局河川課

マ イ・タイムラインとは?

洪水のような進行型災害が発生した際に、 「いつ」「何をするのか」 を整理した個人の防災計画です。

一人ひとりがとる防災行動を時系列に整理し、 あらかじめ取りまとめておくことで、急な判断が 迫られる災害時に、自分自身のチェックリスト、また 判断のサポートツールとして役立てることができます。

「自分の命も、家族の命も自ら守る」という 意識を持つことが重要です。

学ぶ意義

各地で毎年のように大規模な洪水が発生し、異常気象が日常となりつつあります。

安全な場所に移動しておくためには、どのように川があふれるかを知り、それに応じた備えが必要です。

自分自身の家族構成や生活環境を踏まえて 自身の洪水リスクを把握し、 適切なタイミングで逃げ始めることが重要です。

作 成にあたってのポイント

1 知る

ハザードマップを確認して、 地域の水害リスクを知る



2 気づく



3 考える



洪水時に得られる情報と防災行動を 時間軸で考える重要性に気づく

洪水時の具体的な行動を シミュレーションし、 わたしのマイ・タイムラインを考える

作 成にあたってのポイント

いつ

- ●台風の予報が出たら
- ●大雨・洪水警報が出たら
- ●避難判断水位に達したら など

何を

- ●どう避難するかをチェック
- ●私の家族の安否を確認
- ●避難開始

など

「いつ」「何を」するのかを意識して作成することが大切

作 成にあたってのポイント

■警戒レベル

警戒レベル

新たな避難情報等

5



まんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1 ※1 市町村が災害の状況を 確実に把握できるものではない 等の理由から、警戒レベル5は 必ず発令される情報ではありません。

·<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~

4



避難指示※2

3



こうれいしゃとうひなん

高齢者等避難※3

2



大雨·洪水·高潮注意報 (気象庁)

1



早期注意情報 (気象庁)

※ 2 避難指示は、これまでの 避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者 等以外の人も必要に応じ普段 の行動を見合わせ始めたり、避 難の準備をしたり、危険を感じ たら自主的に避難するタイミン グです。

作り方

■ 3つの段階を踏んで作成



マイ・タイムライン作成に向けた準備段階

マイ・タイムラインの 作成

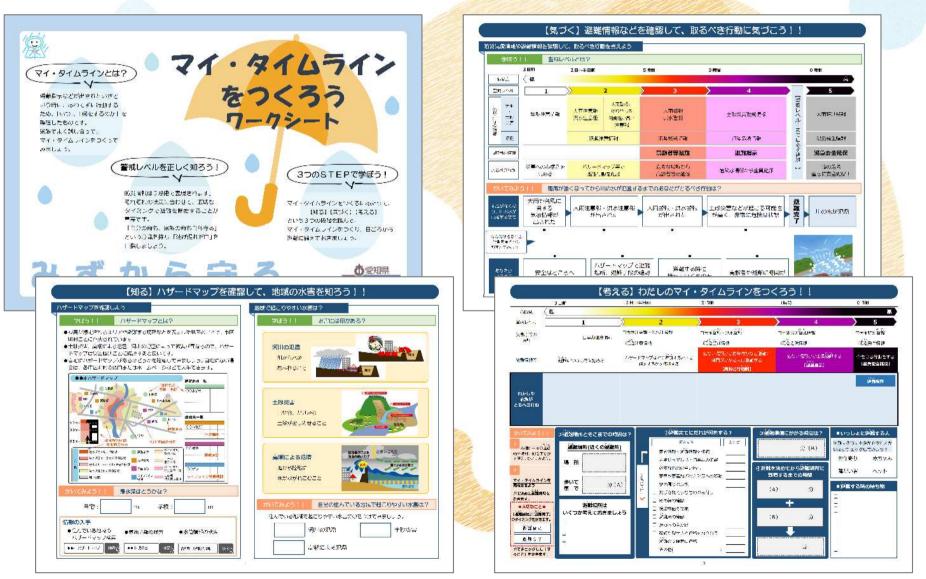
学習の流れ

時間	学習活動	内容
5分	■導入	●マイ・タイムラインについて知る
10分	【知る】ハザードマップを確認して、 地域の水害を知ろう!!	●ハザードマップについて知る●どういった水害があるのかを確認
10分	【気づく】避難情報などを確認して、 取るべき行動に気づこう!!	●警戒レベルや避難のタイミング 等について理解する
15分	【考える】わたしのマイ・タイムライン をつくろう!!	●【知る】【気づく】で学んだことを活かし、 マイ・タイムラインを作成する
5分	■まとめ・振り返り	●初めて知ったことや新たな気づき などの振り返り

全部で45分を想定した構成

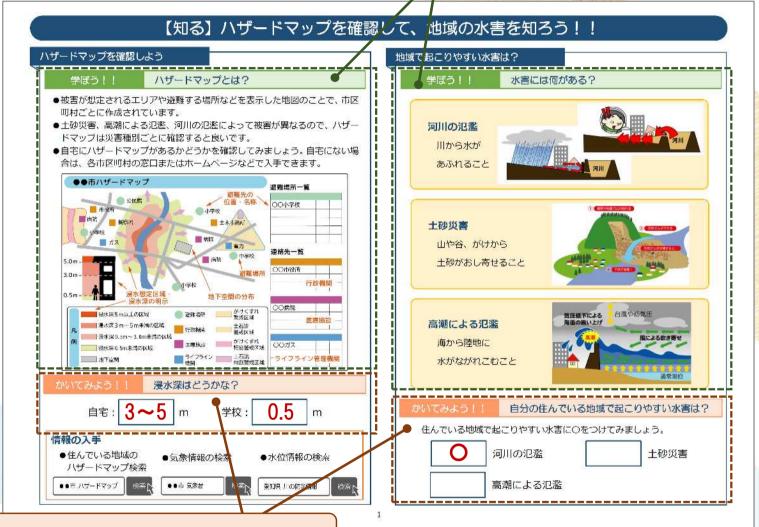
ワ ークシート

1~3の段階を踏んで作成できる構成



1 知る

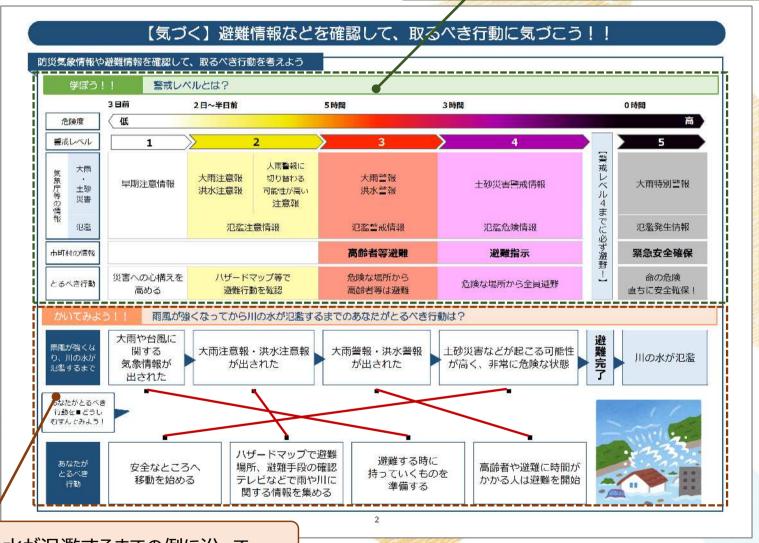
ハザードマップや水害について理解を深めます



ハザードマップからわかる浸水深や 起こりやすい水害について調べます

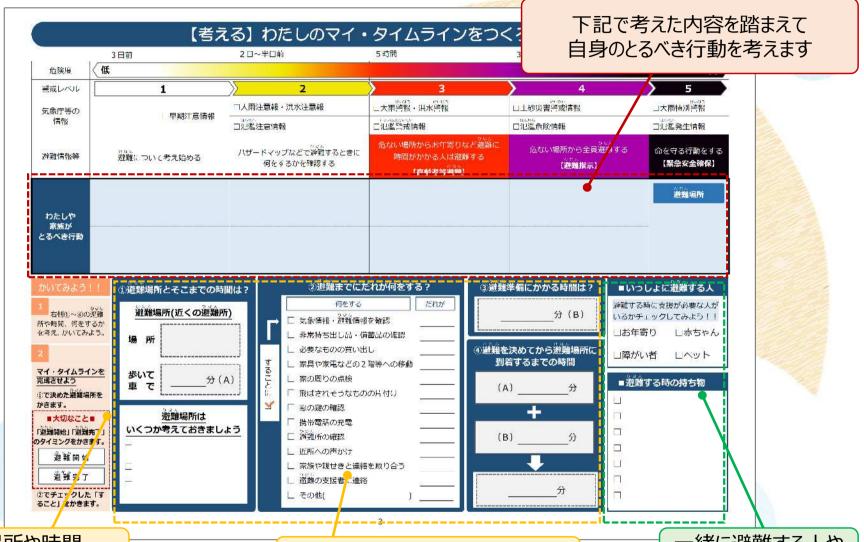
2 気づく

警戒レベルやとるべき行動について理解を深め、 時間軸で考える重要性に気づくよう促します



川の水が氾濫するまでの例に沿って、 とるべき行動を考えます

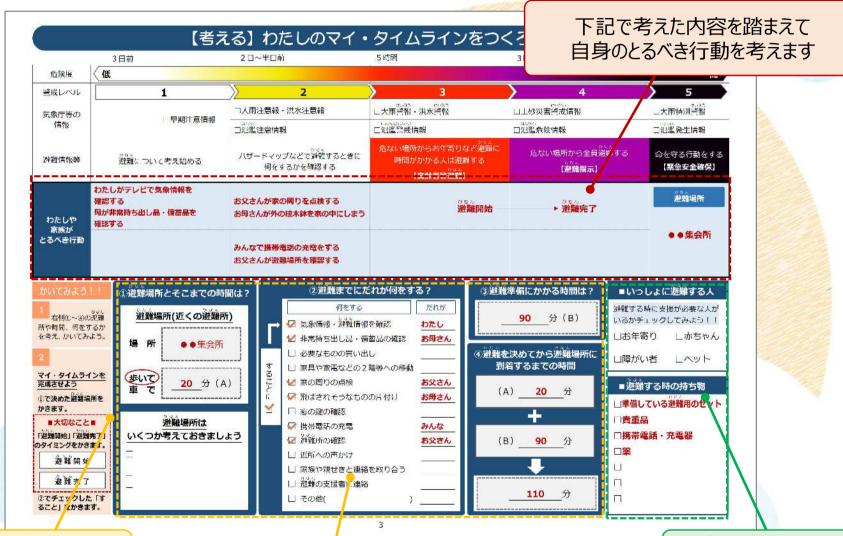
3 考える



避難場所や時間、 避難準備にかかる時間 を考えます

避難するまでに「だれが」、「何を」 するのかを考えます 一緒に避難する人や 避難する時の持ち物 を考えます

3 考える



避難場所や時間、 避難準備にかかる時間 を考えます

避難するまでに「だれが」、「何を」 するのかを考えます 一緒に避難する人や 避難する時の持ち物 を考えます

最後に

マイ・タイムラインを作成し、 いざというときのために日ごろから 避難への備えや意識を持ちましょう。

作成したマイ・タイムラインは、 家族で話し合いをして確認しましょう。 また、家の中のすぐに確認できるところに 貼っておくと良いでしょう。